

「神様からの贈り物」

マルガリータ 本多麻耶子

数ヶ月前から日曜日の来るのが待ち遠しくなりました。そしてその気持は昨年十二月七日に洗礼、十四日に堅信を受けてから一層、強くなりました。

私は父がクリスチャンなので物心ついた頃から自然と神様を受け入れて育ちました。

幼い頃にはこっそりいたずらをしようとする私を見つめる神様の視線を感じて思わず手を引つ込めてしまったものです。またイエス様のご生涯を書いた本を読んだ時には、今すぐ死んで天国に行き、神様イエス様のお傍で暮りたいと本気で思ったものです。

子供の時にそれ程純粋な信仰心を持っていたのに受洗するまでの道のりは長いものでした。それは大人になるに従い心に迷いが出てきたからです。また神様イエス様の教えにほど遠い我が身を見るのも辛く、いっそ信仰心など捨ててしまえば楽になると思い強いて背を向けてまいりました。

私の人生も色々ありました。が五年程前から築地で一人暮らしをするようになり、その頃

からしきりに教会に行きたいと思うようになりました。聖路加は家から一番近い教会ですが聖公会には余りなじみがなく、また知人もいなかった。為初めは他の教会に行っておりました。去年の夏前でした。私の友人が上田先生と親しいということで紹介していただきました。そして先生の「洗礼はゴールではなくスタートです」というお言葉に励まされ、喜びの日を迎えることが出来ました。またその友人は井原先生ともお親しく、つくづく神様のお導きを感じました。この教会は神様が選んで下さいました。神様からは教会だけでなく先生方、会員の皆様、そして洗礼、堅信と沢山の素晴らしい贈り物をいただきました。形ある贈り物は開ける前の方がワクワクして嬉しいこともあります。が神様からの贈り物は開けたあとの方が数倍嬉しいものです。今年からは聖歌隊にも入れていただき、また楽しみが増えました。

これからも先生方や皆様に助けていただきながら信仰生活を送っていきたくと思っています。素晴らしい贈り物をくださった神様に心から感謝しております。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆